

大障教ニュース

大阪府立障害児
学校教職員組合
大阪市天王寺区
東高津町7-11
府教育会館704号
(TEL)6765-8904
(FAX)6765-8905

**大障教は大阪の障害児教育をより発展させていくため
みなさんの加入を心よりお待ちしております！**

あなたも大障教へ 「つながり合い」「学び合い」を大切にしよう！



新型コロナウイルスの新規感染者数が増大するなか、新年度がスタートして約2週間がたちました。新規採用者のみなさんにとっては毎日が不安と緊張の連続で、疲れも出ているころではないでしょうか。ベテラン・中堅の先生方も、コロナ対策を講じながら新たに担任した子どもたちと教育活動をすすめる日々や年度初めに集中するさまざまな仕事に追われ、忙しくお過ごしのことと思います。

大障教(大阪府立障害児学校教職員組合)は、府立支援学校における教育条件整備と教職員の労働条件の改善、障害者福祉の充実などを大きな柱として、2021年度も運動をすすめていきます。

新年度にあたり、大障教のとりくみへの引き続いてのご協力をお願いいたします。また、この機会にひとりでも多くの教職員のみなさんが組合員として、私たちの運動に参加していただくことを、心から呼びかけます。

大変な時こそ「組合」の出番！

教職員組合は、職場の仲間がさまざまな願いを持ち寄ってつながり合い、みんなで語り合い学び合う活動をする組織です。教育条件が少しでもよくなるように、教育予算の増額や障害児学校の建設などを求める運動に、父母や府民のみなさんと力を合わせて「職員・親族の発熱等の風邪症

新任歓迎行事にぜひご参加ください

今年度もコロナ感染拡大防止のため、新規採用者のみなさんの辞令交付式はおこなわれませんでした。昨年度から職場内でも教職員が「つながり

合うこと」に困難な状況がありますが、そのような時だからこそ、組合は、リモート併用や感染対策を講じるなど工夫をしながら「つながり合い」「学び合い」を大切にしたいと考えています。

4月には新任歓迎教研を

お得な全教共済(大教済)にもご加入を

また、教職員組合の活動と合わせて、教職員がお金を出し合い、仲間同士で助け合う「共済」の仕組みを自主的につくり、その運用もおこなっています。大障教が扱う「全教共済(大教済)」は、組合員でない方も気軽に加入できます。特に、月々600円の掛

状の職免「臨時休業での子の世話を行うための職免」「感染防止のための臨時的な自動車等による通勤の許可」などの要求を実現させることができました。また、児童生徒数の増加により深刻化する「過大・過密」の解消を求める知的障害支援学校の増設を求める請願

2回企画しています(※裏面囲み記事も参照)。①4月17日(土)、「出合いはタカラモノ」子どもから教えられたことばかり」と題して、全国教研でも大人気の佐藤比呂「さんに障害児教育の魅力や楽しさを伝えていただきます。②4月28日(水)、『高等部卒業後の学びの場』オンライン学習会」として、障害のある青年たちのねがいや学校卒業後の「学びの場」について講演や意見交流を通して学び合います。リモートを併用した企画ですので、職場で幅広く声をかけて、誘い合ってください。お待ちしております。

金で、結婚・出産などに給付が受けられ、退職時には掛金が全額戻ってくる「総合共済」は、府立支援学校の約6割の先生方が加入しており、新規採用者のみなさんにもおすすすめです。まずは、新教研や職場のとりくみなどに参加して、組合のことを知ってください。その上で多くの教職員の方のみなさんに、大障教に加入していただくことを願っております。

署名にとりくみ、最終2万2500筆を議会に提出しました。大変な時こそ「組合」の出番です。「よい教育をめざす活動(教育条件整備)」と「働きやすい職場をつくる活動(労働条件改善)」を今こそみんなの力を合わせてすすめていきましょう。

署名にとりくみ、最終2万2500筆を議会に提出しました。大変な時こそ「組合」の出番です。「よい教育をめざす活動(教育条件整備)」と「働きやすい職場をつくる活動(労働条件改善)」を今こそみんなの力を合わせてすすめていきましょう。

大障教ホームページアドレス <http://fc06331220171211.web2.blks.jp/> Eメール アドレス : fushoukyou_1@mtb.biglobe.ne.jp



75歳以上が支払う原則1割の医療費窓口負担を2倍にする「健康保険法等改定案」が、4月8日の衆院本会議で審議入りしました。これが成立すれば、単身世帯で年収200万円以上、夫婦世帯で同320万円以上が対象とされ、約370万人が負担増となります。しかも、対象者は政令で定めることとなっており、成立後は政府の「判断」で年収200万円未満の人たちまで「2割負担」を求められかねません。限られた収入に加えて、病気やけがをしやすく、受診機会が多い75歳以上への影響は計り知れません。政府試算でも、膝の痛みの外来で年3万2千円増、高血圧性疾患での通院では年6万1千円増という結果になっています。経済的理由で受診をあきらめ、治療が手遅れになれば、病状急変リスクの高い高齢者にとって命にかかわる大問題です。

菅首相は「現役世代の負担減」のために、高齢者に「能力に応じた負担」を求めると言いますが、「軽減」される現役労働者の保険料負担額は、1人当たり月30円に過ぎません。最も削減されるのは国・自治体の公費980億円で、「法改正」の狙いが公的な社会保障費削減にあることは明らかです。

一方、統廃合やベッド数を減らした医療機関に対して、消費税の増税分を財源に「給付金」を支給するための法案が、衆議院を通過しました。新型コロナウイルスが猛威をふるい、入院できない患者が自宅療養中に亡くなるケースが相次いでいます。そんな中で、「社会保障充実のため」に増税した消費税を使って病院を減らすとするなど、これほど国民をバカにした話はありません。

いつも通りとはいかないけれど… 短時間でもやっぱり集会はいいなあ!



枚方支援学校分会

新しい仲間を迎え、

各分会での趣向を凝らした新歓のぞらぐみ (ぞらぐみ)



集会は短時間で行いました

枚方支援学校分会では、これまで新年度や学期末に分会集会を行い、全員がひと言ずつ話をして交流してきました。昨年から集まりにくい状況になってしまいましたが、工夫をしながらなんとか続けています。

昨年度末は退職を迎える組合員の方が3人おられたので、ぜひとも集会をしたいと思い、3月25日の休憩時間に各自で昼食を済ませてから短時間で集まりました。退職の先生方には、それぞれの先生にまつわるちょっとしたプレゼントと、還暦にちなんで赤いお花を一輪お渡しして、ひと言ずつ話していただきました。どの先生も組合に入ることにしたきっかけを話

2021年度大障教・新転任歓迎教研

「集まること」を大切に みんなでつながり学びあおう!

大障教新転任歓迎教研として、新歓期の4月に教研を企画しています。新年度はじめて出会った子どもたちとの実りある1年間につなげるためにも、みんなでつながり学び合いましょう! 今回の教研では、リモート併用かつコロナ感染対策を講じたサテライト会場を設定しています。感染症対策として申し込み順の会場定員を設けていますので、お早めの申し込みをお願いします。

○新転任歓迎教研①

「出会はタカラモノ ～子どもから教えられたことばかり～」

講師：佐藤 比呂二さん (東京都立特別支援学校教員)

日時：4月17日(土) 10:00~12:00 (9:30会場)

場所：たかつガーデン8階「たかつ東中」

参加費：無料

※ZOOMでのオンライン参加もできます♪事前に資料を送信する関係で15日までに申し込みください。

ポイント：全国教研でも大人気の先生です。佐藤さんが出会ってきた子どもたちとのエピソードを通して、障害児教育の魅力や楽しさ、子どもたちとの関わりの中で大切にしたいことなどお話いただきます。実践につながる、魅力いっぱい・元気いっぱいの講座です!

○新転任歓迎教研②

「高等部卒業後の学びの場」 オンライン学習会

日時：4月28日(水) 19:00~21:00 (18:30開場)

場所：ホテルアウィーナ大阪4階「金剛東」

※感染症対策の関係で、会場を「たかつガーデン」から

「ホテルアウィーナ大阪」に変更しています。

参加費：無料

※サテライト会場を設けていますが、個人でのZOOM参加も可能です(先着100名)。

ポイント：NPO法人大阪障害者センター・大障教・大教組障教部の共催による学習会です。伊藤修毅さん(日本福祉大学)のお話や「学びの場」の実践報告に学びます。特別支援学校高等部卒業後の「学びの場」の保障で、障害があるからこそ「もっとゆっくり学びたい」、世の中の大学生たちのように「青春時代を楽しみたい」、そんなねがいに応える「進学」という選択肢が増えてきています。大阪や全国の仲間とつながりながら「学びの場」の現状や意義について学び合い、これからの進路保障のあり方を一緒に考えていきましょう!



され、「異動の相談にのってもらい、希望がなかった」「子どもとの関わり方がとても素敵で憧れる先輩が何人かいて、みんな組合の先生だった」「組合の同僚が、いろんなことで親身に話を聞いてくれ、自分の状況に合う制度や権利を教えてください」といったエピソードが

印象的でした。当日は限られた時間で、いつもの集会よりは参加人数が少なく、長年勤めてこられた先輩方の話をもっと多くの先生方に聞いてもらえたらよかったです、と思いました。

そして、4月6日には転勤されてきた方も含めて顔合わせの分会集会を行いました。度々もみんな力を合わせて

した。今回も昼食は控え、短時間バージョンにしました。教育実習先で一緒だった先生とこの職場に来て再会したという話や、前任校で学校建設署名を頑張っていたという頼もしい話、新年度を迎えての心境などそれぞれに自己紹介をして、今年

やっていこうと確認し合いました。職員室に戻ると、「行きたかったのに忘れていた!」「自分でごはんを食べたあとに集合するのはきつい!」などの声が聞かれました。短時間でも集まってお互いに話ができてよかったな、と思うと同時に、やはりみ

援学校分会 林陽子